



## 保護者の皆さまへ

令和7年度の終業式を迎えることができました。保護者の皆様、この1年間、本校の人権教育の推進に多大なご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

毎年行っている「人権に関する意識調査」の結果と3月10日(火)人権教育ホームルーム活動についてご報告します。

## 人権に関する意識調査

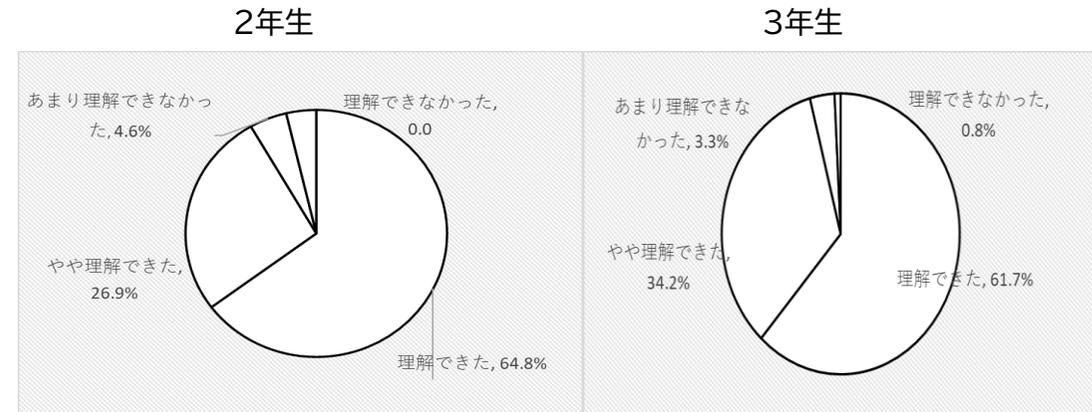
12月23日に実施したアンケートの結果です。

	1年生	2年生	3年生
アンケート回収率	90.7%	70.6%	81.6%
質問項目	1年生	2年生	3年生
Q0 人権が尊重されていない場面がありましたか			
なし	96.6%	96.3%	98.3%
あり	34.0%	37.0%	17.0%
Q1 あなたのクラス内で同級生達の人権意識は高いと思いますか。	3.8	3.7	3.8
Q2 あなたの部活の部員達の人権意識は高いと思いますか。	4.0	3.8	3.9
Q3-1 人権学習を通じてあなたの人権意識は高まりましたか	4.4	4.3	4.4
Q3-2 人権学習を通じてあなたの同級生の人権意識は高まりましたか	4.4	4.1	4.2
Q3-3 人権学習を通じてあなたのクラスの部員の人権意識は高まりましたか	4.2	4.1	4.2
Q3-4 人権学習を通じてあなたの部活の部員の人権意識は高まりましたか	4.2	4.0	4.2
Q4 三刀屋高校の人権教育の充実についてどう思いますか。	4.2	4.1	4.1

ここまでは5段階の平均を示しています。

Q5 更に学習をした方がよいテーマを1つあげてください。	1年生	2年生	3年生
同和地区	13.9%	9.4%	20.4%
障がい者	33.9%	26.4%	33.6%
LGBT(性的少数者)	25.2%	31.1%	27.4%
病気(感染症等)	16.5%	12.3%	8.0%
外国人	10.4%	20.8%	10.6%
Q6 適切な人権講演会の在学中の回数は何回と思いますか。			
1回	80.3%	78.7%	70.8%
2回	1.7%	7.4%	10.8%
3回	17.9%	13.9%	18.3%
Q7 授業を通じて同和地区差別事象が現在も存在していることが理解できましたか。	2・3年生のみ回答 4段階で評価		

## Q7 回答状況 円グラフ



## <分析>

この調査の回答より、今年度1年間の高校生活において、大部分の生徒の皆さんが人権を保障されているという認識を持って学校生活を過ごしていることが分かります。またLHRで人権教育の授業を受けることで自分自身や周囲の仲間の意識が高まったと多くの生徒が回答しています。

人権教育の充実については、毎学期の人権教育の取り組みに関して多くの生徒のみなさんが肯定的に受け止めていると思われます。ただ、知識面で理解できていても行動して示すことは難しいと言われることもあります。人権感覚に基づいた行動ができるように指導しています。

人権学習のテーマについては、2年生で重点的に学習した同和地区の差別についての学習に加えて、障がい者やLGBT(性的少数者)の差別の実態や解消について更に学習をした方がよいという意見が一定数あるので、次年度以降の取り組みを検討していきたいと思えます。

もう片面には3月10日(火)に実施した人権教育LHRの取り組みについての報告があります。学級閉鎖のため1年1組・3組は後日実施しました。

## 2年生 3 学期人権教育 HR

LHR の時間に副担任が中心となって授業を展開しました。

主題:教科書無償化運動について考える(同和問題の歴史から学ぶ)

目的:教科書無償化の要求は、憲法に保障されている権利を守るためのものであったことを知る。現在受けている教科書無償配布や奨学金制度等の背景に、教師や保護者、子ども達による、子どもたちの進路保障のための運動があったことを理解する。差別をなくし自分たちの権利を守っていくには、一人ひとりが声を上げ、地域一体となって連帯していく必要があることに気づく。被差別部落の人々の努力が、社会全体の利益につながったことを認識する。

### 2年生生徒の感想より

○子供たちの豊かな生活のために大人たちが一丸となって力を合わせて制度を作ることによって今後の生活が大きく変わっている。私も未来の子どもたちのために今何ができるか考え行動すべきか学ぶことができた。

○義務教育において教科書が無償で提供されるまでには時代の背景や「子どもに平等には学習してほしい」という人々の思いがあったのだと思った。

○被差別部落の方々の運動について聞き、思うだけ、言うだけではなく行動に移すこと、やってみることが大切だと分かった。簡単にできることではないこと、記録に残るくらい成し遂げ現代も引き継がれていることがすごいと思った。

○昔の人の頑張りがあって今がある。このように受け継いできたものを次は自分たちが将来子どもたちに渡す番である。一人一人何かしら違いがある。その違いを理解できる大人にこれからなっていく。

○自分が日々使用している物がすべて簡単に手に入るものではないし、手に入らない人もいると考えると、一つ一つ大切にしていきたいなと思った。これは人にも言えることで、日々見ている光景がどれだけ幸せで、平穏がどれだけ素晴らしいことなのかを考えて深めることができました。



## 1年生 3 学期人権教育 HR

主題: 思い込みや偏見に気づこう

目的: 自らの生活やこれまでの経験を振り返り、自分自身や社会の中にある思い込みや偏見に気づく。偏見を少なくし、差別をしない・させないために、どのような考え方や行動が必要か考える。

### 1年生 生徒の感想より

\*毎日の生活の中で感じているおかしな点をグループの人と出し合ってみて、普段は話すことがないからわからなかったけど、意外とみんな違和感を見て見ぬふりして過ごしているのだなと思いました。また、私のグループではみんな私と同じところで違和感を感じていて、友だちと自分の嫌だと感じる場所に違いはありませんでした。でも、もっと色々な人の意見も聞いてみると、きっと自分では大丈夫だと思ってた発言が、相手にとっては決めつけられたなどと感じる内容だったかもしれないと気づくことがあるだろうと思いました。(一部省略)

\*グループや全体発表で最も出た「決めつけ」は、性別や年齢、血液型などで、自分は差別していないと思っているけど、知らないうちに思い込みや偏見を持ってしまい、相手を傷つけたり、不公平な扱いにつながるということがわかりました。自分の考えが本当に正しいのかを一度立ち止まって考えることがたいせつだと思いました。また、周りの意見やイメージに流されず、相手の立場になって考えることも必要だと思います。偏見に気づくことができれば、人との関わり方も大きく変わると思うので、これからは相手を決めつけず、その人自身を理解しようとする姿勢を大切にしていきたいです。(一部省略)

\*今日の授業で自分のその人に対してのイメージや偏見で相手を無意識に傷つけているのかもしれないということに気づきました。(中略) 自分のイメージや偏見でものを言うのではなく、まず相手のことを知って、自分の勝手な偏見をなくすことが大切だと思いました。偏見についてのワークシートで、個人で考えたときはあまり出てこなかったけど、グループで意見交換をしたら血液型のことや外見についての偏見があって、共感する部分がたくさんありました。(一部省略)

\*私はこれまで、第一印象で判断してしまったり、決めつけられて少し「いやだな」と思ったことがあったけど、実際に話してみないとわからないし、決めつけられて悲しい思いをするひとがいるので、考えて行動したいと思いました。グループで意見を共有したときに、共感できる意見があったり、友だちが感じたことや考えたことがわかったので、さらに自分の言動を見直すことや、意見を深めることができたと思います。これから私は、自分の言動に責任をもち、勝手な偏見をもつことはやめて、人のありのままを尊重し、よいところをたくさん見つけていきたいと思いました。(一部省略)



### 授業の振り返り・今後の指導

多くの生徒たちが、これまで感じてきた違和感や自分の中の思い込みや偏見に気づき、他者と共有することで「共感」や「新たな気づき」があったようです。グループや全体での発表時も、自分とは違う意見や価値観に受容的な態度で耳を傾けていました。今後は、生徒の感想にもあったように、「相手や物事についてよく知ろうとする態度」や話し合いの中で見られた「自分とは違う意見や考え方を尊重する気持ち」をさらに伸ばす指導を心掛けていきたいと思っています。